

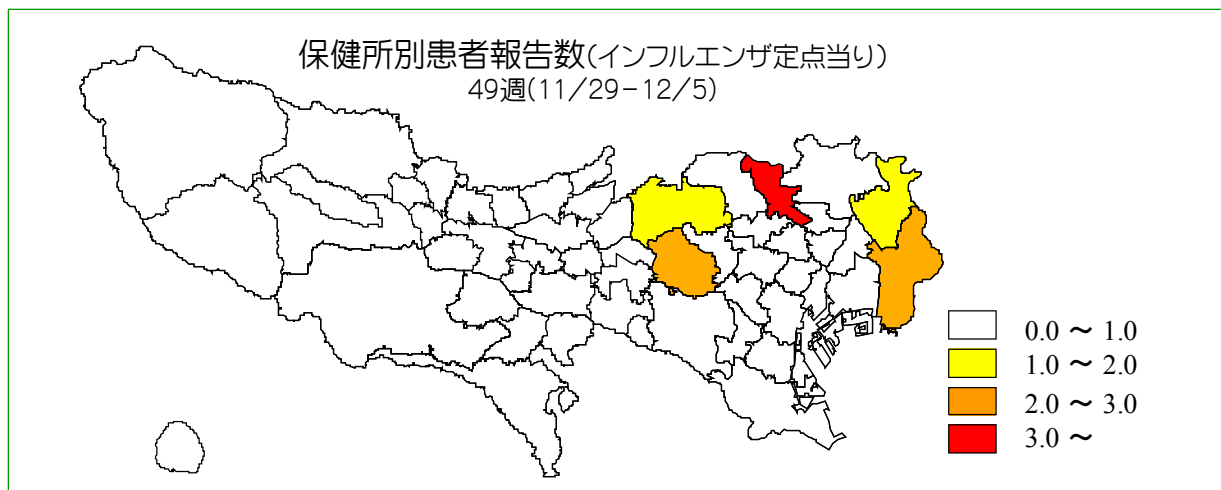
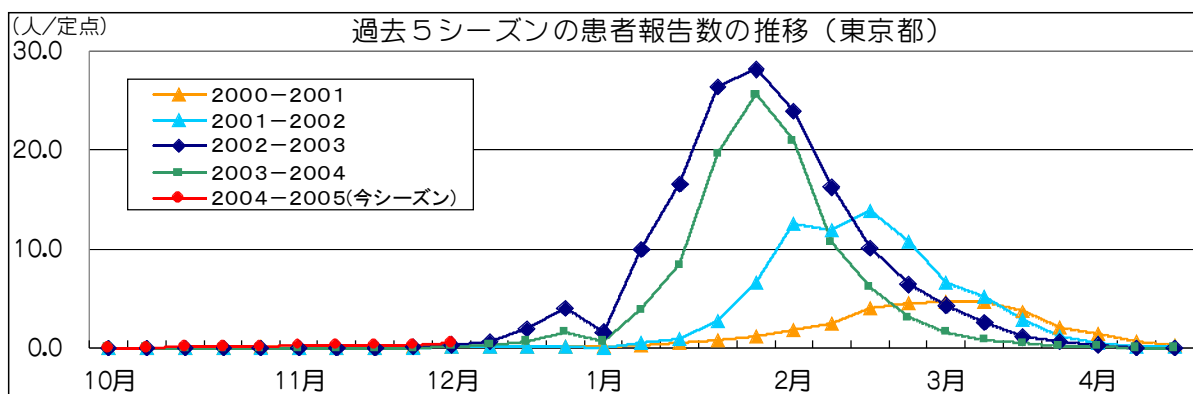
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号（第4号）のトピックス

- ・第49週(11/29-12/5)のインフルエンザ患者報告数は、76人、定点当たり0.43人（去年同期、24人、定点当たり0.13人）
- ・葛飾区と府中市で学級閉鎖
- ・杉並区と江戸川区の学級閉鎖は、いずれもA香港型によるものと判明
- ・東京都の流行規模は、全国で5位

流行状況



1 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第49週(11/29-12/5)の患者報告数は東京都で76人、定点当たり0.43人です（去年同期、24人、定点当たり0.13人）。全国の患者報告数は733人、定点当たり0.16人です。

*：インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、

東京都では178ヶ所（全国約5,000ヶ所）の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

2 東京都公立学校の学級閉鎖状況

12月2～9日において葛飾区と府中市で、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

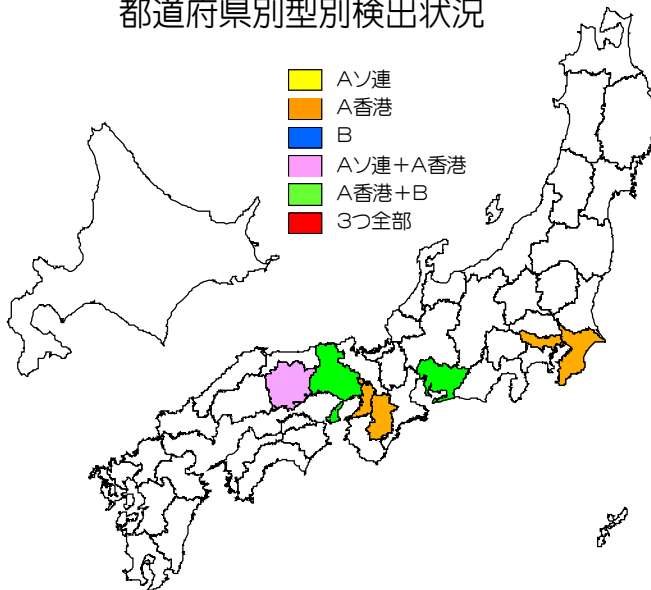
定点医療機関から搬入された検体の検査結果				
週	陽性数	インフルエンザウイルス		
		Aソ連	A香港	B
45週 (11/01-11/07) 以前	5	0	5	0
46週 (11/08-11/14)	3	0	3	0
47週 (11/15-11/21)	0	0	0	0
48週 (11/22-11/28)	0	0	0	0
49週 (11/29-12/05)	0	0	0	0
50週 (12/06-12/12)	-	-	-	-

*:上気道炎、下気道炎などの診断名で送付された検体を含む

学校での集団発生として搬入された検体の検査結果							
搬入日	管轄保健所	集団種別	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
					Aソ連	A香港	B
11月29日	江戸川区	小学校	5	5		5	
11月30日	杉並区	小学校	3	2		2	
12月9日	府中市	小学校	5	-	-	-	-

-:検査中

都道府県別型別検出状況



IASR 病原微生物検出情報(12月8日現在)による



インフルエンザの予防には

- できるだけ、人混みは避けましょう。
- 外出時にはマスクを利用し、帰宅時にはうがい、手洗いを忘れずに。
- 室内では加湿器などを使って、適度な湿度を保ちましょう。
- バランスよく栄養をとりましょう。
- 疲労や睡眠不足には注意しましょう。

3 東京都と全国の検査情報

12月9日現在、当センターに上気道炎、下気道炎等で搬入された検体から、A香港型が合計8件、PCR法により検出されています。

12月9日までに、3事例の集団発生(学級閉鎖)の検体が当センターに搬入され、2事例8件中7件の検体からA香港型がPCR法で検出されています。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)によると、12月8日までに、7都府県からA香港型、1県からAソ連型、2県からB型による患者発生が報告されています。今回新たに、B型の報告が愛知県からありました。

4 全国の流行状況

第49週(11/29~12/5)現在、流行の目安となるインフルエンザ定点当たり1人を超えている都道府県はありません。

定点当たりの人数が多い3県は、群馬(0.69)・宮城(0.66)・千葉(0.64)で、岡山(0.62)、東京(0.43)と続いています。

◆インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
 東京都感染症情報センター
 (微生物部疫学情報室)
 微生物部ウイルス研究科
 多摩支所微生物研究科
 企画管理部計画調整課
 〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1
 TEL: 03-3363-3213
 FAX: 03-5332-7365
 idsc@tokyo-eiken.go.jp
 http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/



古紙配合率70%再生紙を使用しています